

Wセミナーの直前対策には、合格に必要な要素が満載です!!

合否を左右する重要な時期の直前期には、良質な問題の演習を中心とした対策が効果的であり、自分の弱点を把握・認識することが不可欠です。多くの合格者を輩出してきたWセミナーで、短答式試験突破に必要な知識量、論文式試験突破に必要な筆力を身につけましょう。

2011年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月

まずは短答式試験の突破を目指す方

短答総まとめ講座 (全12回) INPUT

一通り学んできた条文の理解をさらに深めるため、出題頻度の高い部分など最重要ポイントについて整理し、短答式対策の総仕上げを行う講座です。使用する「短答要点集」は図表を多用し、条文、要点、本試験出題履歴、過去問等をまとめているため、より深く条文の確認を行うには最適です。

使用教材：オリジナルテキスト「短答要点集」

前期短答式答練 (全6回) OUTPUT

本格的な短答式対策の答練第一弾です。本試験の時間と同じ解答時間と同じ問題数の問題を解く答練で、問題形式に慣れ、効率的に問題を解くためのトレーニングを行います。答練を受けた後は、1問ごとの正答率がわかる個人別成績表で自分の弱点や苦手分野を把握することができます。

使用教材：問題冊子、マークシート、解説冊子、個人別成績表他

◆出題の難易度：★★★★

後期短答式答練 (全6回) OUTPUT

身につけた知識を使い、本試験と同形式の問題演習を行います。問題演習を行うことで知識の「穴」を確認すると同時に、時間の使い方や正確性を身につけながら、解法テクニックを学んでいきます。解説講義でポイントを確認後は、1問ごとの正答率がわかる個人別成績表で自分の弱点や苦手分野を把握することができます。

使用教材：問題冊子、マークシート、解説冊子、個人別成績表他

◆出題の難易度：★★★★

短答式模試 (全2回) OUTPUT

本試験と同レベル・同一形式で実施され、実力の最終確認、知識の漏れの最終調整が可能です。1問ごとの正答率がわかる個人別成績表で自分の弱点や苦手分野を把握することができます。更に、全国レベルでの自分の位置を確認することができますので、本試験前のシミュレーションには最適です。

使用教材：問題冊子、マークシート、解説冊子、個人別成績表他

◆出題の難易度：★★★★

短答式試験

Point

短答式模試は、本試験前の最終調整や本試験シミュレーションとして活躍します。第1回目では法域ごとに問題を解き、第2回目では最初から順番に解くなど、自分なりの解き方を試してみてください。本試験では模試の結果が良かった解き方で挑み、合格できたという先輩受講生の声も多数あります。

Q 出題テーマが予想できない論文式試験を目前に、やるべきことが次から次へと浮かんできてしまうのですが？

A 各論文答練の配付レジュメの復習が役立ちます。答案を書く時間がない時でも、答案構成のトレーニングをすることができます。あとはこの講座で各科目の重要ポイントをチェックすれば準備完了です。

Q この時期に「講座」を受講すべき？ 年が明けたら「過去問」「答練」が受験対策の定番ではないのでしょうか？

A 自信を持って「知識が定着した」と思えなければ、問題量をこなすだけの学習法は短答式対策として不十分。インプットとアウトプットをバランス良く繰り返していくことが合格への近道です。

Q 短答式試験直前にも、論文対策を継続すべきですか？ 短答対策に集中したほうが良いのでは？

A 自分の言葉で答案が書ける＝知識が定着している、ということ。理解が甘い箇所の確認にも役立ちます。休みを挟むと、答案作成のウデも鈍ってしまいます！

Point

直前論文模試は本試験と同様に全科目を1日で解ける、最後のチャンスです。模範答案、優秀答案など、参考になる資料も多数配付します。また、模試の後の解説講義も充実しており、最終調整や本試験前のシミュレーションとして最適です。

残す課題は論文式試験のみの方

後期論文答練 (全12回) OUTPUT

これまでに身につけた「答案構成力」、「当てはめ力」の力をフル活用して本試験レベルの問題を解いていただきます。中・上級者が数多く参加する答練であり、本試験に対応できる水準へと実力を引き上げることができます。

使用教材：問題、模範答案、問題文の読み方、優秀答案、総合成績表他

◆出題の難易度：★★★★

直前論文答練 (全9回) OUTPUT

論文対策の総仕上げをする答練です。本試験で出題が予想される問題を数多く出題し、答案作成→添削→復習というサイクルを続けてもらうことで、総合力を養うとともに、知識の抜けをチェックする役割も果たします。

使用教材：問題、模範答案、問題文の読み方、優秀答案、総合成績表他

◆出題の難易度：★★★★★

論文最終チェック講座 (全3回) INPUT

論文本試験直前期に本試験で出題予想論点の総チェックを行う講座です。最新の判例や法改正、短答本試験の出題傾向を踏まえ、本試験の出題論点の予想を行います。テキストは、短期間で効率的に重要部分が確認できる「論文最終チェックシート」を使用します。

直前論文模試 (全2回) OUTPUT

論文本試験と同レベル・同一形式で実施され、最後の実力確認と調整が行える模試です。論文式本試験は3科目計4通の答案を書き上げるハードな試験ですので、本番前のシミュレートには最適です。出題内容は過去に多くの的中を出したWセミナーが、総力を挙げて作成したこだわりの本試験予想問題です。

使用教材：問題、模範答案、問題文の読み方、優秀答案、総合成績表他

◆出題の難易度：★★★★★

論文式試験